

議 事 録

令和6年 8月 1日

記 録 者 名	山崎 寛子
会 議 名	一般社団法人天草宝島観光協会 令和6年度 第1回理事会
日 時	期 日：令和6年5月29日（水） 時 間：15時00分～ 16時30分
場 所	天草宝島国際交流会館ポルト 多目的ホール
議 事 内 容	
<p>【出席者】 出席理事：山本博、山下修平、深川隆一郎、濱崎英文、松本國雄、金子信之、倉田泰 田口京重、濱崎宗治、藤本貴士、宮下剛、松崎義文 顧 問：泉 廣幸 欠席理事：中田勝也、平下豊、江崎航、本田晴美、竹地克夫、野崎健、野崎多喜子、田中光徳、 下田貴久 出席監事：本田一 欠席監事：近藤雄一 事務局：古川雄一、野下正裕、山崎寛子、中田千鶴子、坂田喜久美、田中マキ（天草支部）</p> <p>【議事録】 （ 事務局 古川 ） すいません、宮下理事が遅れて来られるということで、今、全員そろっておりますが、よろしいでしょうか？</p> <p>（ 山本理事 ） 定数は足りてるの？</p> <p>（ 事務局 古川 ） 出席が13名です。 では、定刻となりましたので、令和6年度第1回理事会を開会いたします。 ご多用の中お集りの皆様、ありがとうございます。 それでは早速ですが、会長からご挨拶をお願いいたします。</p>	

(藤本会長)

皆様、こんにちは 本日はほんのご多用の中、24年の第1回目の理事会にご参加いただきまして誠にありがとうございます。2年間のコロナ後と言うことで、初めてのゴールデンウィークと言うことで、最大10連休と言うところもあって、久しぶりに活気づいたことと思います。

また、牛深ハイヤ祭りも小雨でしたけど、例年のように大変にぎわっておりました。また、ポナン社のクルーズ船のですね、3回にわたり無事受け入れも終了しまして、乗客の方も大変、崎津の風情ある人気ある港町に大変感激してたと言うことで、また来年も引き続き崎津に寄港される予定だそうです。まあ皆さんご承知のように、山梨の河口湖のローソン富士山と言うのが最近話題になっておりますけれど、こういったSNSで話題になればどんなこんな田舎でもですね、世界中から集まってくるような時代であります。

また先日出張でJALのケアに派遣しましたが、倉岳神社の天空の鳥居がですね1ページ掲載されており、【ああ、すごくインパクトある写真だな】と思いました。こういったの近くにあるなど私も思いました。年間、200万人の国内線の利用の方がいらっしゃるんで、かなりの宣伝効果があると思います。

1つでも皆さん近くの天草の観光スポットをですね、発信頂ければ、これから、いったん梅雨の中休みに入りますけど、我々としても1つでも多く天草の良さをスポットを発信して、インバウンドを含めてこのように取り組んでいきたいと思っておりますので、ご理解ご協力をお願いいたしましてあいさつと代えさせて頂きたいと思っております。よろしく願いいたします

(事務局 古川)

はい、ありがとうございます。

では、議題に入っております。今回総会前と言うことで総会資料のご確認等もございますので、大変資料が分厚くなっております。では、進行の方は田口副会長でよろしかったでしょうか？よろしく願います。

(田口副会長)

ちょっと喉がかれておまして、ちょっと聞き取りづらいとは思いますが、すいません では、それでは理事会を行わせていただきます。議題、総会議題と言うことで、順次事務局の方から説明をさせますので、一旦説明の方、一項二項終わりましたらご質問なり、ご指示なりいただければと思います。

(事務局 古川)

はい、それでは1ページ目をご覧ください。総会議題といたしまして、直近5年のこれまでの総会の流れを記しております。令和6年度は6月24日で、15時からアマクササンタカミングホテルで今の所、開催予定と言うことになっております。次のページをご覧ください。総会の次第をつけております。【開会・会長挨拶・観光功労者表彰・来賓挨拶・議長選出】と言う流れで進んでまいります。【議事】に関しましてはこれら3つを進めてまいりたいと思っております。次のページをご覧ください。【観光功労者表彰】と言うことで今回1名表彰を行います。次のページをご覧ください。ここから議案第1号となりまして、令和5年度事業報告並びに決算の承認についてと言うこととなります。では事業を野下の方から説明させていただきます。

(事務局 野下)

野下でございます。よろしくお願いいたします。令和5年度の一般会計の方なんですけど、

【1. 観光宣伝及び観光客の誘致】と言うことで食のキャンペーンを4つ実施しております。4ページめの方に天草伊勢海老祭りの方を記載いたしております。8月から12月にかけて実施いたしております、実績といたしましては、お客様が10937名と言うことになっております。売り上げは前年対比で74.9%となっております。

続きまして5ページ目ですね、あまくさ井井フェアの方ですけども、9月1日から11月30日まで実施をしております。杯数としては、10644杯で、前年対比で125.4%と売り上げが増加しております。

続きまして次のページです、6ページ目に行きまして、第8回天草大王と車エビと言うことで、12月1日から2月の29日まで開催しております。宿泊人数と飲食の合計で、4065名様が利用されております。売り上げの方は前年対比で109%と増加になっております。続きまして7ページ目ですけど、第9回天草うに三昧と言うことで、今年の3月30日からまだ開催中でありまして、5月31日まで開催をしております。

下に実績をつけておるんですけど、こちらは令和4年の昨年の3月から5月までの実績を記載しております。次のページに行きまして、8ページ目部会の活動と言うことで、地域の枠を超えて業種間のつながりを深めて、単独で困難な事業を展開するため、4つの部会を立ち上げて、合同でパンフレットとホームページの製作を実施しております。

8ページの一番下にあるんですけど、3月15日に第3回合同正副部会長会議を行いまして、パンフレットは出来てるんですけど、そのパンフレットの中のQRコードからHPの方に飛ぶんですけどその内容があまりまだ充実していないと言うことで、令和6年度はこちらの方ホームページの方を充実させていくということで、決まっております。

9ページ目ですけども各支部の事業を挙げております。支部の事業は9ページから13ページまでになりますので、ここは各自ご確認ください。と言うことで割愛いたします。

14ページに行きまして、【2. 観光に関する調査研究並びに情報の収集・提供】と言うことで、食のキャンペーンでお客様にアンケートを取りまして、下に書いてありますような枚数を集計しております。その下に行きまして、【3. 観光客受け入れ態勢の整備】と言うことで、ランチガイドブック、45000部を修正して発行を昨年12月に行っております。

その下に行きます。【4. 観光関係諸機関との連絡協調】と言うことで、島の宝観光連盟ですね15ページの上なんですけど、5月に東京の方で島の宝を探しに行こうというイベントをしております。

15ページの下の方に行きまして、アクア協議会の方ですね大阪駅前の観光ブースの方でイベントを実施しております。

16ページにはその他のイベントについて明記しております。一般会計の方は以上です。続きまして17ページの【受託事業】の方にいきます。

【1. 観光資源開発及び保護育成】と言うことで、観光商品開発の項目が上がってたんですけども、昨年は未受託ですので受託料を0としております。2つ目ですねその下です。

【2. 観光に関する調査研究並びに情報の収集・提供】と言うことで、昨年度に続きまして宿泊調査の方を行っております。その下に行きまして、【3. 観光客受け入れ態勢の整備】と言うことで、

牛深の観光案内所の運営を引き続きしております。続きまして

18 ページの方にまいります。中段がですね【情報媒体の作成】と言うことで、ホームページの更新とですね、あとブログの更新などを、スタッフが定期的に更新すると言うことをしました。

18 ページから 19 ページにかけてがその内容をなっております。20 ページにですね一応ブログの方を昨年度は 47 個あげまして閲覧数は 20 ページのとおりになっております。

21 ページに行きまして、HP の方ですね、あまくさ調査隊と言うのをおこなっております。こちら昨年度は 3 つ掲載をしております。

22 ページから 23 ページにかけてはホームページの閲覧数とか閲覧が多かったページのランキング等を示しております。

24 ページに行きまして、自動翻訳システムの導入と言うことで、ホームページの中にですね、英語・中国語・中国語は繁体字、簡体字、あと韓国語に翻訳するシステムを導入しております。下の表の通り閲覧数が出ております。前年対比で 327% と急激に増えております。25 ページの方に行きまして、イラストマップの改訂と言うことで、昨年度はインバウンドを見据えて、英語・中国語の繁体字、簡体字・あと韓国語のイラストマップの増刷の方を行っております。その下に行きまして、パンフレットの送付と言うことで、お客様からメールか電話で問い合わせがあったものに対して要望のパンフレットを下の件数、毎月お送りしております。

25 ページの下の方に行きまして、その他の事業と言うことで、【1. 天草宝島国際交流会館ポルト施設管理委託業務】をしております。

26 ページに行きまして、【2. 旅行業を活かした業務】と言うことで、熊本県の委託事業である御所浦地域の化石採集クルージング事業を実施しております。また旅行業をいかしまして着地型の旅行商品販売も行っております。その下に行きまして、ホームページを活用いたしまして、宿泊特集や飲食特集を行いまして広告収入を得ております。

その下に行きまして、【4. 崎津集落観光美化清掃業務】といたしまして、天草市からの受託事業と言うことで、崎津集落の観光の交流広場の清掃活動を行っております。

また、その下に行きまして、【5. オリジナル商品の販売や販売委託】と言うことで、ポルトの 1 階で民芸品などの販売を行いました。

その下に行きまして、【6. 事務局業務委託】と言うことで、冬の天草誘客推進協議会の事務局と、27 ページの上の牛深ハイヤ保存会の事務局をしております。

その下に行きまして、【7. 画像借用業務】【8. 校正業務】【9. 崎津協会・大江教会撮影などの窓口業務】【10. SNS による情報発信】などを行っております。以上です。

(事務局 古川)

引き続きまして、令和 5 年度の決算及び監査報告について、と言うことで総務部山崎の方からご説明さし上げます。

(事務局 山崎)

まず、28 ページからになります。こちら資産の部、流動資産が当年度が、12,723,122 円、当年の資産が、資産合計 15,023,132 円、負債の部、負債合計が 11,512,489 円、正味財産、負債の部正味財産の合計が 15,023,132 円となっております。こちらが一般会計になります。29 ページになります。こちらが経常収益計が、55,788,411 円、当期経常増減額、経常費用計が、57,197,168 円

となります。続きまして 30 ページ、一般正味財産期末残高、**3,510,643 円**、最後が正味財産期末残高として、**3,510,643 円**となっております。続きまして 31 ページ、特別会計の方の貸借対照表となっております。

流動資産の合計が、**31,527,766 円**、負債の部といたしまして、負債合計の**3,182,840 円**、負債及び正味財産合計が、**31,527,766 円**となっております。次のページが正味財産増減計算書となります。

当年度、こちらも特別会計の方になります。経常収益計が、**24,762,861 円**、経常費用計といたしまして、**32,351,802 円**、最後の 33 ページが、正味財産期末残高といたしまして、**28,344,926 円**となっております。

監査報告の方になるんですけども、こちらが定例監査ですね、3 ヶ月ごとに実施しております監査の方は終わってるんですけど、まだ決算監査の方はまだできておりませんで、一応、本田監事の方にお代わりして状況を説明いただきます。

(監事 本田氏)

監事の本田でございます。今、事務局からございました通り年 4 回の定期監査につきましては終了いたしております。その定期監査の中で事務局のほうから提出のありました関係、書類等につきましては、適正に処理をされているということでもあります。よろしく願いいたします。

(田口副会長)

はい、ありがとうございます。それではですね、事業報告、決算報告、監査報告については、定期は終わっている、ご意見なりご指示なりあれば理事の方よろしく願いいたします。

(山本理事)

部会の冊子を作って QR コードに飛ぶと言われたんですけども、充実してないだけで、公開はされているということでしょうか？

(事務局 古川)

はい、公開はされております。

(山本理事)

ホームページを見たときに、そこにたどりつけなかったんですけども、ホームページとリンクはしていないということなんでしょうか？

(事務局 古川)

これからの作業で、令和 6 年の作業です。

(山本理事)

ここ（総会資料）に QR コード乗せとかんばね、理事、部会じゃない人ばかりだから見ることが出来ないから、理事会にあげる時は

(田口副会長)

はい、ありがとうございます。あと他にございませんか？ …
無いのであれば、ご承認いただければここで締めさせていただきます。つづいて

(事務局 古川)

それでは、議案第3号と言うことで、35ページをご覧ください。令和6年度基本方針といたしまして、情報発信の強化と積極的なプロモーション活動と言うことでやってまいります。イルカウォッチングや世界文化遺産に登録された『崎津集落』、海の幸や温泉など観光素材のブラッシュアップと情報発信を行い、新たな顧客の開拓につなげる。

また、阿蘇くまもと空港と台湾を結ぶ定期便の就航を受け、インバウンドの積極的なプロモーションを行う。としております。

(1) インバウンド対策といたしまして、阿蘇くまもと空港と台湾を結ぶ定期便の就航や、TSMCの熊本進出を受け、台湾を含めたアジア圏へのプロモーション活動を行う。

(2) 新たな顧客開拓、イルカウォッチングや世界文化遺産に登録された『崎津集落』、海の幸や温泉など観光素材や商品の情報発信を行い、新たな顧客開拓を行う。

(3) 組織改革、意思決定のスピードの向上や、会員間の情報共有を円滑に行う。各支部の連携や支部事業、支部事務局運営の見直しを行い、効率化を図る。

(4) 自主財源の確保に取り組む、パナー広告、委託業務以外の財源確保に向けて、新しい事業や取り組みを行っていく。と言うことでしております。

次のページをご覧ください。令和6年度の事業計画となりますので、こちらは事業部の野下の方からご説明申し上げます。

(事務局 野下)

はい、令和6年度補助事業といたしまして、【1】観光宣伝及び観光客の誘致と言うことで、昨年度までは、4つのグルメキャンペーンですね実施してたんですけど、そちらの方が特別会計の方で自主事業となりましたので、今年度はですね新規グルメキャンペーンの立ち上げと言うことで実施をしていく予定です。

今後事業委員会で、新規グルメキャンペーンの事業計画と立ち上げを行う予定になっております。その下に行きまして、部会活動費としましては、250万ですね、こちらの方で、先ほどありましたホームページの方をですね、QRコードからホームページ先の方の情報の充実を図っていきたいと思っております。その下に行きまして、各地域の誘客事業と言うことで、支部事業と会長決裁枠がこちらの方になっております。

その下にいきまして、【2】観光に関する調査研究並びに情報の収集・提供と言うことで、こちらはですね、先ほど4つのグルメキャンペーンを昨年度したんですがこちらの方でも今年度もお客様の方からアンケートを頂いて、収集をしまして分析をしていくってことになっております。その下に行きまして3つ目、観光客の受け入れ態勢の整備と言うことで、情報媒体の作成の方、ランチガイドブックですね、こちらの方を昨年に引き続き更新をする予定になっております。

その下に行きまして、ちょっと新規と言うことで、インバウンドも含めて外国人観光客受け入れ態勢整備と言うことで、新規に事業を立ち上げることになっております。こちらの方、今まで特別会計でホームページの先ほど言いました翻訳機能の部分がですね、こちらの補助事業の方に

入ってきてまして、こちらの中で運用していく形になります。

37 ページの方ですね、観光関連諸機関との連絡調整と言うことで引き続き関係機関との連携事業を行って行きます。内訳も下に書いている通りになります。

続きまして、38 ページに行きまして、特別会計受託事業の方になります。【1】観光客受け入れ態勢の整備と言うことで、牛深の観光案内所の運営を引き続き行っていきます。下の2番、情報媒体の作成の部分なんですけど、こちらがですね、先ほども言いました補助事業の方の新規の外国人観光客受け入れ態勢の整備の方に入っていきます。日本人向けのホームページの更新などは、今回は予算が入っていないという状態になっております。

その下に行きます。【2】観光に関する調査研究並びに情報の収集・提供と言うことで、昨年引き続き宿泊調査の方を継続してまいります。その下に行きまして、(2)レンタサイクルの実証実験、今回新たに行っていく予定になっております。その他の事業といたしましては、旅行業を活かした旅行商品販売事業を行います。

また、今年も化石採集クルージング旅行商品の販売を継続していきます。その下に行きまして、ホームページを活用してですね、広告収入を得ていく予定でおります。39 ページに移りまして、天草宝島国際交流会館ポルトの受託業務を引き続き行います。その下に行きまして、オリジナル商品の販売や宿泊手配による収益を得る事業も行って行きます。

その下に行きまして、崎津集落観光美化清掃活動も引き続き行います。事務局業務も昨年と同様ですね、観光案内業務、お客様のお問い合わせに応じたパンフレットの発送等行う事も引き続き行います。それ以下の校正・写真提供、教会の窓口業務すべて昨年度と同様になっております。

令和6年度の食のイベントですね、自主事業の方なんですけれども、生うに三昧、井井フェア、伊勢えび祭り、天草大王と車エビの4つの食のイベントの実施を計画をしていきます。また通年で天草の朝食をホームページにて紹介する予定になっております。

各食のイベントのですね委員会ですね色々ちょっと検討していただいて、井井フェアと天草大王と車エビは今年度は規模の縮小又は中止の方向でということになっております。

生うに三昧の方は、今、生うに三昧実施中ですのでそれが終わってからですねどういう方針になるか決まる予定になっております。で、今実際に実施すると決まっているのは伊勢海老祭りで、この間ですね、第1回の委員会が開かれた所になっております。以上です。

(事務局 古川)

はい、続きまして令和6年度の予算案につきまして、山崎の方からご説明申し上げます。

(事務局 山崎)

では、40 ページ・41 ページの一般会計の補助金の部分になります。予算額が収入が59,007,000円となっております。内訳が会員様からの受取会費が6,000,000円、補助金等で51,978,000円、受け取り負担金が750,000円、雑収益が279,000円となっております。また内訳、支出の方が、観光宣伝費で合計が、29,320,000円になります。

その内訳として観光宣伝費として、22,770,000円、調査研究などで300,000円と以下のようになっております。

最後、正味財産の期末残高が、3,510,643円が一般会計の方の令和6年度の予算となっております。

す。続きまして 42 ページと 43 ページが特別会計の方の予算書になります。こちらが費用、収益といたしまして、25,877,133 円、こちらあと旅行商品等で事業費の方がこの内訳となっております。で最後正味財産期末残高が、15,650,159 円となります。以上が令和 6 年度の予算となります。

(田口副会長)

はい、ありがとうございました。それでは予算の方ですね、ついてご審議なり、ご質問があれば

(山本理事)

食のキャンペーン、私は実行委員長なので何故中止になったのかわかりますけど、理事の皆さん何故かわからないと思いますので説明を事務局なり執行部なりから説明をしていただくなりお願いします。

(田口副会長)

事業委員長の方から、少しご説明をさせていただきます。ご出席された方にフォローしていただければと思います、足りない分は。先日、各食の委員長さんと含めて会議をさせていただいて、前々回の理事会の時、令和 6 年度の予算につきましては、いわゆる補助金でやるのではなくて別途積立金の中から切り崩して行うというようなことで進んでおりましたが、実際、約 2 千万ほど全体の支出をしてる中で、ご相談を申し上げたときに、元々市との広報活動だったり、PR だったりとも兼ねたり、あるいは焼き物、丼だったりなど焼き物だったりそういったコラボをしながら、食を皆さんにお伝えするといった経緯の中で、事業をやってきたわけですが、自主財源でやるといったことになると、非常に厳しい現状があると言うことを各委員長さんの方で事務局ならびに説明を申し上げたところ、まあいくつかいろんな、今回は出来ることをですね各委員長さん、いらっしゃった、自分たちができるフェアにして、伊勢えびだけにつきましては事業規模も大きいということもあって、伊勢えびだけは現状通り自己資金を使ってやる。

その他については、各そのフェアごとに残高を見積もった等のご報告がありましたので、その中で中止と言う言葉がいいのかどうかわかりませんが、各委員会が集まっていたいて、どうゆうやり方があるかどうかと言うことも含めて、ご検討をさせていただくということで、進めさせていただければと言うことでご承認を頂いた。

で、市の方からもですね、やっぱり食文化と言うのは非常に大事と言うこともあって、いろんな検討もご指示もあつたりしたんですけど、前回の会議の中で、方向性を決めたということで、一旦は伊勢えびはそのままやります、その他の 3 つの物に関しては、出来ることあるいはもうまったく出来ないってことになる、あるいは広告については新たに市と相談をして広告については各フェアも含めたような新しい広告を使う、そういったものに変えていくと言うことでお話をしたと言うことでこう言う協議になっております。

(山本理事)

そもそもですね、予算の段階で補助金でなく特別会計でするっていう風に決まった経緯が中々わからないままですね、で、その特別会計でやるって言われたので私たち実行委員長は予算の出所はどこでも予算があるなら出来るだろうと言うことで進めていたんですね、しかし今年度に入

ってからちょっと予算が厳しいという話をうけまして、特別会計で積み上がったものですね、私たちの食のキャンペーンで使って行っても、2年3年で枯渇してしまうので、それならばもうやらない方がいいんじゃないかと言うような話ですね、私は井井フェア実行委員長でしたので引き下げをするといった状態でした。

なので今後ですね、それぞれの実行委員長、実行委員会で考えると言われましたけれども、このような方式ならば出来ません、なにか良いように言われてるんですけど、やはり、今まで補助金を頂いて成り立っていた事業ですね、それを自己資金でやっていこうというのは、取り組みはしておりましたけれども、先ほど市の方も広報活動はして下さいと言われましたが、いち、井井フェアについては広報活動って全く0円なんですよね。

テレビCM等は打ってなくて、パンフレットを作るだけで約200万ほどかかるものですから、中々その資金を自分たちの自己資金でやっていくというのは難しいと、なので今後も観光協会の特別会計の中から捻出すると言うのは私も会長でしたので不可能だろうなあって思っているの、引き続きできれば観光協会の方で予算を組む時、市の方にきちんと折衝していただいて、補助金なりですね支援をしていただけないか、もう一度そういうですね後押しをきちっとしていただければありがたいなと、今年は予算が決まっておりますので、市も中止になっておりますし、来年に向けてどうかやっという動きはしております。皆さんから軍資金というところは苦しい部分もあるわけですね、そこは観光協会も市の方もですねご理解いただいてご協力をしていただければ、いいなあと風にしておりますので、それはお願いとして、理事の皆さんもそういう形で活動しているということを知っていただいてご協力をしていただければありがたいなと思っております。よろしくお願いいたします。

(藤本会長)

ありがとうございました。つい先日、実行委員長含む4つの観光課の方に出向いて行きましてですね、こういう状況でいろんな皆様の思いを相談しましたが、前々回の理事会で、まさに理事がおられますけれども、内部留保が約4000万ほどもあるということで、まずはそちらを活用しながら、その中で、減っていったタイミングで、またいろんな市としても検討しますと言われてましたので、まあ一旦はですねそちらを活用しながら、食のキャンペーンを進めていきたいと思っております。

JTBとかリクルートの調べでもですね、旅の一番の目的は現地で美味しいものを食べるということが、常にトップ3に入っておりますので、天草の食材はですね、他の地域に決して負けない一番強い部分でもありますから、是非食のキャンペーンを売るためにもですね、是非、市とも今後協議しながら、支援を受けながらですね、一人でも多くのお客様を天草の海の幸を満喫していただく為にも協会と市連携して取り組んでいきたいと思っております。

(田口副会長)

はい、貴重な意見ありがとうございます。他にございませんか？

(観光振興課 松崎課長)

ちょっとですね、市の立場から補足、説明させて頂きたいと思います。昨年の5月25日の第1回の理事会の時だったと思いますが、その時にですね、私の方から、特別会計と一般会計とを合

わせると正味財産の残高が4千万を超える金額となっております。

その様な状況を踏まえて、私の立場と致しましては、市の予算を財政当局に要求する立場としてですね、なかなか厳しいものがあると、補助金のあり方について協議させて頂きたいという発言をさせて頂きました。

それからあの事務局の皆さんと協議する中で、10月3日第4回理事会で、食のキャンペーンについては、特別会計というような説明が事務局の方からあったかと思えます。

市の予算の編成の時期も10月が一つの目途となっております、最終的には3月の議会で決定するんですけど、そこをめぐって協議を重ねてきたというところがあったんですが、この間各実行委員長さん、それから私ども、そして事務局の皆さんとお話を、協議の場を持っていただいたんですが、当時私たちがその事務方で協議をしていたのが、当時の福田事務局長とか、経理の城下さんとか、大塚さんとか、その方たちと協議をしていく中で、方向性としては特別会計の方でいいですよというところで話がきてて、ですが、どうもそのところが今現在の事務局の方もよくどういう形でそうなったのかもご存じないという事と、それから観光協会の内部のなかで、各実行委員会の方々迄、話が伝わっていなかったということになってまあ今回、実行委員会の皆さん方は、急に起きた話のように印象を受けられたというようなことで、市としてもですね、そういったことが確認を取れましたので、今回は確かに予算が固まっておりますので、今のような提案の形をさせて頂いて、もう一回一年間ぐらいじっくり時間をかけて、どうゆう食のキャンペーンが持続可能で、そして、観光客の誘致に繋がるよう、増々つながってくるような持続可能な形が出来るのか、改めてまた仕切りなおして共有させてください。ということになっております。

来年の予算に向けて市の方にどういった支援の在り方があるかどうかですね、その辺も含めて共有させて頂きたい思っております。窓口は事務局の方でして頂いて、それから各実行委員会の方で話をしていただく中で、決めさせて頂いただければと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

(田口副会長)

はい、ありがとうございました。他にございませんか？無いようであれば、一応予算案として、締めさせて頂きたく思います。続きまして、議題の役員の承認についてあるんですけど、これはすいません、ありませんので削ってください、すいませんミスプリントです。

その他って項目があるんですけど、何か他にございませんか？ あの新規の会員さんとかそういった所で一番最後の方でその他と思っております。続きまして、ご承認いただきましたと言うことで、新規会員の承認及び退会会員の方についてお願いします。

(事務局 古川)

はい、資料の方がページが一番後ろのページになります。別紙の方が最後の方につけさせて頂いております。新規会員の加入についてと言うことで、まず正会員のこちらが、株式会社グッドスタッフさん、栖本温泉センター河童ロマン間の運営をされているということで、4月11日にお申し込みを頂いております。

続きまして株式会社白亜紀『化石ディグ』と言うことでこちらもお申し込みいただいております。じゃあまず、ご承認されますか？ご承認、執行部になると思いますが、先に退会を報告させ

てもらった方がいいですか？

(田口副会長)

いや、先に新規のほうから、新規会員の方についてはご了承いただけますでしょうか？

はい、ありがとうございます。では、退会についてご報告

(事務局 古川)

続きまして、退会のご報告と言うことで、・通詞島体験倶楽部実行委員会、・株式会社 UET ファーム、プロレス殿堂館リングサイド、熊本旅行株式会社天草デスク、株式会社五和商事さん、以上5件ですね、退会と言うことになります。

(田口副会長)

はい、退会については報告と言うことですよしいですかね、はい、続きまして

(事務局 古川)

では、資料の方45ページをお開き下さい。令和6年業務委託の内容についてと言うことで、主な変更点といたしまして3点あげております。先ほどの総会資料の中で説明はさせていただいている所ではございますけれども、まずは食のキャンペーンについては受託事業から自主事業と言うことになります。2番目ですけどもこちらはレンタサイクルの実証実験と言うことで、今年度から新規で動いていく予定になります。

こちらが天草市と運営会社のチャリチャリと言う企業さんが本渡の市街地周辺でですねレンタサイクルの実証実験を行うということで、観光協会の方で受託予定と言うことになっております。

こちらは福岡市とか、熊本市あたりで非常にポピュラーなチャリチャリという、もう結構広がってきてるらしくてですね、これを天草で展開することで、熊本や福岡のお客様がそのままそれを運用されて観光などを巡って頂けるのではないかとと言うことで、令和8年度までの予定で実証実験を行う予定となっております。

詳細については今後、市やチャリチャリさんと協議をしながら進めてまいります。3番ですね、情報媒体の作成、これも話がありました通り補助事業に変更となっております。

続きまして(3)番ですね、事業経過報告と言うことで、現在開催中の天草生うに三昧、もうあとわずかですけど5月31日までということで開催中でございます。

このまま進めてよろしいでしょうか？

ご意見クレームについてということで、今回2件上がっております。内容についてはご覧いただければと思います。46ページをご覧ください。

その他の報告事項としまして、2件ございまして、まず、事務局長の公募をおこなっております。それのご報告でございます。募集に対しまして、応募が1件ございまして、先日採用試験を実施させていただいた結果、不採用という事になっております。

続きまして、嘱託職員としまして、坂田喜久美ですね、5月1日より勤務を開始しております。牛深支部を主に担当するという形になって参ります。上記2件を踏まえたところでの令和6年度

の事務局体制、すいませんこれが案となっておりますが、報告事項なので、案の部分を外していただければと思いますが、事務局体制といたしましてはご覧の通り、私が次長からマネージャーへ、山崎と野下はそれぞれマネージャーからチーフへと言うことで変更になっております。また、育児休業中の瀬形に関しましては6月20日頃復帰する予定となっております。以上です。

(田口副会長)

はい、あの事務局体制については、少し最後に執行部からフォローすると思います。その前までの事についてはご了承いただけますでしょうか？ よろしいでしょうか？はい、ありがとうございます。

あの、事務局体制の所をもう少しフォローをさせていただきます。執行部の方でどうやったら大変な状態を生きていくことが出来るかというような観点のもとに、私自身は前期も執行部にいたんですけども、その中で、色々こう職員の皆さんと相談しながら、まずは大変な状態を一旦正常な状態に戻すことが最優先ですね、その時に、私自身は解散せんと難しくなるんじゃないかとも思いましたが、果ては今の事務局の皆さんがやっていただけと言うならということで、スタートをして、で、どうにかですね、決算までこぎつけた、で、これからはですね、一通り前期までの執務の内容に照らし合わせて、勤務年数とかも含めてですね、新しい体制で進めていければという風に思っております。

で、前会長あたりにもですね、相談することもあるかと思えますけど、ぜひ屈託のないご意見を頂ければと思っております。皆さんの中にも何かご意見とかご指示とかあればですね、言っていただければと。

で、事務局長につきましてはですね、前はかなりの人数が来られて、大変な形で面接をやって、ただ、会長いらっしゃるんですけどもね、いい方がいたなと思つたら、家族の方の関係でちょっと最後の方にお断りをされたりとかあったんですけど、今回は、募集した期間もいかなかったんですけども、お一人と言うことで、その方については十分に合格ラインまで至らなかったということとなっております。

それと、補助金が絡むものですから、行政関係の方がいいんじゃないかって事もあって、色々ご相談をしたりはしているような状況ですけど、そのあたりもご意見とかご指示あればですね、お願いします。

(山本理事)

もう、募集はされてないんですか？

(田口副会長)

今は一旦、面接をしたところで止めてます。でちょっとその、決まったちょっと募集した時期もちょっとその4月に募集が決まってるというようなこともあって、ちょっと私たちもまずかったかなあ、1月2月にですね移動があるときに出来れば良かったんですけども、出来なかったと言うこともあってですね

(藤本会長)

いやほんと、皆さん、年末からで大変ご迷惑ご心配をおかけいたしまして、年末に3名職員が

退職しまして、2月に事務局長が退職と言うことで、急遽2月の時点で募集をしようと思いましたが、協議・相談する中で今回より慎重にと言うことをあのそれぞれに必死に考えてましたので、一旦ちょっと保留にしたまま暫定措置としてこの体制で進んでまいりましたけども、まあ、来月総会と言うことで、ちょっと改めて一旦、まあ執行部と相談しましてですね、あの、事務局長募集しようと言うことで、田口副会長も言われましたように、ちょっと短期間で新年度スタートしたばかりでしたので、ちょっとタイミング等もちょっと折り合わなかったのかなという面もありましてですね、またちょっと再度、再公募検討含めまして、いろんな各関係機関に相談しながらですね、よりガバナンスの効いた、観光に精通された方を今回、今必死で探してる状況でございます。

組織体制につきましても、これまでの体制を補修しながらですね、あの、この体制も約5か月間立ちますので、ある程度業務内容も軌道に乗りつつあるのかなという中で、再度この体制で一旦進めさせていただこうとは、執行部といたしまして昨日協議したばかりでございます。まだまだ不慣れな点もございますけれど、協議しながら進めて、実行していきたいと思っております。

(田口副会長)

そういった形でよろしいですかね？

(濱崎宗治理事)

はい、え〜っとこの事務局体制ですけども、前は古川君の方から会長に相談もなく、案という形で出されてましたけど、通常、事務局の方から提案するのではなく会長の提案からであって、今回は、これは案とかじゃなく決定ですか会長？

(藤本会長)

ちょっとそういった所はもう一度執行部で、もうちょっと揉みます。役職を含めて

(濱崎宗治理事)

これは、また古川君が作ったんじゃないかなってしょもん？

(藤本会長)

いや、これは、これまでの流れの体制で

(濱崎宗治理事)

であればちゃんとして、やっぱり事務局体制を作るのであれば、会長・副会長、その下がですねちゃんとした体制を作ってください。で、もうちょっとあの、事務局はやっぱり力はあるけど、ある程度しっかりした人で作って下さい。

(藤本会長)

そこは、松崎理事とも相談しながら

(濱崎宗治理事)

と、言うのも、私もですね、今回、昨日・おとついやったかな？副会長から電話いただいて、知った訳ですけども、理事の退任の件でちょっとあったもんですから、第1回の理事会を済んだら私は、時期を見て総会前にはちゃんと理事の辞職の願いを出したいと思っておりますが、昨日・一昨日やったかな？

(理事)

そうですね

(濱崎宗治理事)

もうちょっとあの、うちの事務局体制がですね、すべて会長、副会長抜きで、事務局が物事決めとる、給料から何から全部自分たちで決めて、未だかつて、私が聞いたところでは、古川君が、土日出らん、え～家庭があるから、出張もしない、こういう人が観光協会においていいんですか？いいんだろうかなあと思って、まああの、基本的に出ないっていうのはどういうこと古川さん？

(事務局 古川)

この2月から、2・3・4月までですね、休日出勤、あと残業、ここの3名を中心にものすごく行っております。すごい長時間の残業、休日出勤をしております。

(濱崎宗治理事)

私、今のことを言ったんじゃないくてあなた基本的に、私は、土曜・日曜の出勤はしませんて

(事務局 古川)

してます。

(濱崎宗治理事)

出張もしませんて事を聞いたもんですから、いかがなものかな？観光協会職員として

(事務局 古川)

誰から聞かれたんですか？

(濱崎宗治理事)

そこは、外部からききました。

(山本理事)

はい、古川君、うわさで聞いたっていったら、うわさで聞かれたんですけど出てますって言えばいいだけしたい、あ、誰から聞いたかは聞かなくていいじゃん

(濱崎宗治理事)

でもですね、私この前・・・

(山本理事)

噂話だから。ね。色々噂はあつとよ。

(濱崎宗治理事)

人の質問中にしゃべらんでください。

昨年ですね、RKK 祭りに宣伝に行きました。まあ、10 何万人多かったですけど、うちも、スペースに伊勢海老と鯛めしあとは、丸健さんのなんですかね、うにコロツケですかね、それと蒲鉾屋さん・・・最初に我々は宣伝をすることを前提にチラシを配ったり、お客さんに説明しました。あとはうちは商売です。あと 2 社はなんも宣伝してませんでした。よそはですね、全旅館組合、観光協会職員が参加して、応援に来てましたよ、さみしかったですよ、こっちは誰も来てない、局長もちょっと顔出したですね、局長もちょっと来てましたけど、職員誰一人来てないんですよ、メインの宣伝に、そういうのがあって。

(事務局 野下)

すいません、RKK 祭りの時はですね、福田事務局長からですね、私たちにその話があった時は、1 週間前ぐらい、開催日の 1 週間前ぐらいの話で、参加できる出来ないを聞かれたんで、もう予定とかですね、土日出勤の者もいるんで、その時は出られない状態でした。

(濱崎宗治理事)

私も RKK 祭りだけを言ってるんじゃないで、長年理事としてやってますけど、うちの協会の職員が、10 年ぐらい前は応援に来てましたね、会長、何人か交代で。以前は来てましたけど、結局何が言いたいかというと、結局観光協会の職員として、この前の色々問題になりましたけれども、店舗を取っとってね、それも、大塚さん、城下さんの・・・・・・・・・・いいんですけどね、関係ない人出して、それもね、・・・・・・・・・・

その後にはですね、・・・古川君が、自分の方からこういう案を出してきた後に、まあ観光協会が理事会が・・・・・・・・ありませんでした。その他にはですね、1 日前に会長にメールを見せてですね、メールでね、こうしたいと。

(田口副会長)

濱崎さん、あの、ちょっとこう、時間も短いですので、おっしゃることはよく

(濱崎宗治理事)

その時に、

(松本理事)

何ば言わせよつとか事務局も、何ば言いたかったか？

(濱崎宗治理事)

間違えてる・・・

(松本理事)

そぎゃんことつまらんで、最初から言えばよかたい、曲がりくねって、あーだこーだ言わんでも、結果がそれは結果がそうなって、今までできとつとでしようが

(濱崎宗治理事)

そういうのがあって、給料体系も自分で決めて、その前に会長に相談する前に

(松本理事)

あなたにね、あなたにね、

(濱崎宗治理事)

会長に相談する前に、社会保険労務士に相談しとつとですよ！

(松本理事)

一理事がね、名前を出して個人を攻撃しとると言うこと、あなたはこれはパワハラですよ。裁判沙汰になりますよ。

(濱崎宗治理事)

そうですかね？

(松本理事)

そうですよ。

(濱崎宗治理事)

役員は言う権利があると。

(松本理事)

大衆の面前で言う言葉じゃないですよ！一個人を目の前に置いとって、あなたみたいにね、地位がある方が言うてもね、こんな事いう必要がないですよ。何執行部はちょっとしろよしっかり。

(濱崎宗治理事)

パワハラと言うとつたけど、局長（福田）に、顔も見たくなければ話もしたくないと、局長のところでは仕事をさせないと、これは逆パワハラですよあなたたちは。

(松本理事)

こんな理事会は閉会しろ！

(田口副会長)

はい、あの

(濱崎宗治理事)

あなた、なんかい？なんか知っとな？

(松本理事)

個人攻撃はするなってことですよ。

(田口副会長)

ちょっと、待ってくださいませんか

(濱崎宗治理事)

なんばいいよっとか、品の悪か。

(田口副会長)

ちょっと、待ってください。

(松本理事)

理事会にならなくて、こんなことは、理事会でケンカする場所かい。

(濱崎宗治理事)

ケンカじゃなく意見ですよ、喧嘩だったら私は、自分で自分の首を絞める、自分の処分を決める会長に相談あったらいいですよ、会長あったんですか？相談あったんですか？

(藤本会長)

メールが来てました。

(濱崎宗治理事)

メールだろ。

(田口副会長)

よろしいですか濱崎さん、今言われてることはまあ執行部も責任がございますので、給料等については、事務局長以外は執行部に任せられてると言うことでございますので、共同責任を負います。と言うことになると思いますんで、その件についてはその、やっぱりこういう場で、個人的なこと、松本理事がおっしゃる・・・

(濱崎宗治理事)

あと一点言いたいことはですね、マネージャーとかチーフというのはどういう立場の人間か、給料を取れるか分からんじゃないですか、なんも・・・それをですよ、残業代とか出張代とか全部チェックしとるんですか今までの会長がですよ。

(山本理事)

あのすいません、今までの会長と言われたので、前会長の立場で言わせていただくとですね、私が会長を引き継いだ時、赤木が事務局長として頑張っておりました。

その時は、私は毎日来れないですけど、週に2~3回は事務局に来てたんじゃないかな、赤木とは、毎日電話で2時間ぐらい話しておりました。メールもするしですね、一緒にいろんな話をしながら、職員さんたちもずっとわかっているんじゃないかな？私が赤木とずっと一緒にいたことをですね、どうゆう風にしようかと、そして、事務局の人間の事は赤木に任せているので、赤木に聞いてもらって、私が直接職員と話をするとですね、また、事務局長の立場だったり、謁見が出てくるので、事務局長に任せてるので、事務局長に多分皆さん相談をそれぞれされてたと思うんですね、その時はチーフで城下もおりましたし、大塚もいたので、事業部は大塚が統率しておりましたし、今体制が変わってしまったんじゃないですか、だから事務局もバタバタとりまですんで、大変なんだなあというのはわかるんです。

なので、まず、私の提案はですね、濱崎さんが言いたいこともそうだと思うんですけど、まずは会長を含め執行部がですね、事務局と密に連絡を取って、あの、一緒の方向に進めるように、話しをもっとして欲しいなど、これは、ほんとに前会長から会長へのお願いでもあるんですけど、忙しいのはわかるんですけど、もう少し事務局に来ていただいて、事務局長いないから、今、古川ですから、古川と携帯で直接話す時間を設けるとか、先ほどメールと言われたんですけど、私もそうなんですけど、中々忙しくて電話に出ていただけないんですよ、なので確認するのはほんとにメールとか、そういった手段しかなかったんじゃないかなと、これは直接聞いてないです。私の推測です。違ったら申し訳ないです。でもそうなんじゃないかなと言う風に思うので、もう少し、ほんとに執行部の方、会長が忙しいのであれば、副会長が4人おりますから、その人間がもう少し事務局と連絡を密にとってそして会長とつないで、一体になっていただければ、まあ私たち理事が見ていると、事務局が悪い、執行部が悪いと罪のなすりつけ合いのような形を見せられると、私、ちょっと寂しいなと言う風に思うので、やっぱり今ほんとに事務局体制が変わって、一番大変な時だと思うんです。

私も会長変わった時には、すごく大変だったので、それで2期で、ようやく2期目の2年たった所で、ようやく動き出すような、ほんとにその順風満帆じゃなくても、それぐらいこう引継ぎにかかるんです。あの、私もいろんな業務を見ないといけないしですね、現会長も今、ようやくそういう色んな事を見る段階だと思うんで、中々厳しい状態だと思うんです。

そこで事務局があれだけ体制が変われば大変だと思うんですよ。なので、ちょっと私も言いたいことがあります。資料をもっと早くほしいとか、でも、ただ、事務局体制と、執行部体制だと厳しいだろうなとかもあるんで、それは理事会の場ではなくてですね、あの、あとから言おうかなと思ってました。なんでかっていうと、理事会で言ってしまうと状況がわからない人からすると、なんやあの執行部はと、なんやあの事務局長はとか、あいつらダメやみたいな噂が出るじゃないですか、私もそういう噂に苦しめられました。言っていないことを言ったとか、してないことをしてるとか、噂のたびに事務局の人たちに私は直接聞きました。

こういう事聞いたけど、こがんことしとると？してません！と、これはこういう経緯でした。みたいな、だからやっぱり、噂が流れて、噂好きの天草ですから、噂を聞いた時にはですよ、あの本人に確かめる事をまずしていただいて、その前にこういう小者がね、わらわら言うのと、聞い

た聞かん誰がどないしたんやみたいになってしまうので、それはやめていただいて、まずは・・ホントに一生懸命密になっていただいて、進めていただければ、うまくじゃないですけど進んでいくようになるんじゃないかな、今人数も、事務局の人数も増えてきたじゃないですか、そうするとほんとと業務も回るようになると思うんです。

そうすると次の段階に進むことができると思うんで、今、決算があつて、市との折衝もしないといけない、総会も控えて、やっぱ中々に事務局と言うのは一番忙しい時期なので、大変だと思うんですよね。

まずは何とかここで総会を乗り越えてですね、次年度体制からこう弾みが付くようにしていただければと言う風に思いますので、執行部の皆さん、よろしくお願いいたします。

(濱崎宗治理事)

あの、副会長、じゃー私は告発していいわけですよ？あの～古川君、あの～横領で、会長はメールで聞いただけで。相談もしとらんし。

(田口副会長)

分かりました。

じゃああのすいません。後味がわるうございますが、これをもちまして終了したいと思います。それで先ほど会長がですね、事務局がと言うことで申し上げたのは、宝島のあれは前会長はご存じだとは思いますが、職責によって手当であるとか、本給が色々違うんですよ、勤続年数とか職務内容とかを見させていただいて、ここに書いてあるものをベースにですね、きちっとあの精査すると言うなことで、会長が申し上げたことでございます。また決まりましたら、次の理事会でもご報告させていただきますので、よろしくお願いいたします。

(濱崎宗治理事)

資料は前もって出せって言うてくれんですか？

(田口副会長)

それはですね、私たちの責任だと思っておりますので、以後は今言われたことを踏まえて、出来るだけ対処したいと思っております。それは事務局ばかりが悪いんじゃないです。ただ私たちがかなりの責任を負わないといかん事だと思っております。ではこれをもちましてですね、今日の理事会を、

(事務局 古川)

すいません1件、別紙をつけさせていただいております。ちょっとこちらの説明だけ。

前回の理事会で、年間を通した理事会の予定と言うことで、大まかな予定なんですけども、だいたいこのあたりで開かせていただくという目途を、この紙をもってお伝えしておきます。よろしくお願いいたします。

(田口副会長)

はい、あの～若干、出席率の事もありますので、概ね、下旬とか中旬とかの表現ですけど、出来るだけ資料も早めに出せるようにですね、していきたいと思います。 どうも今日はありがとうございました。